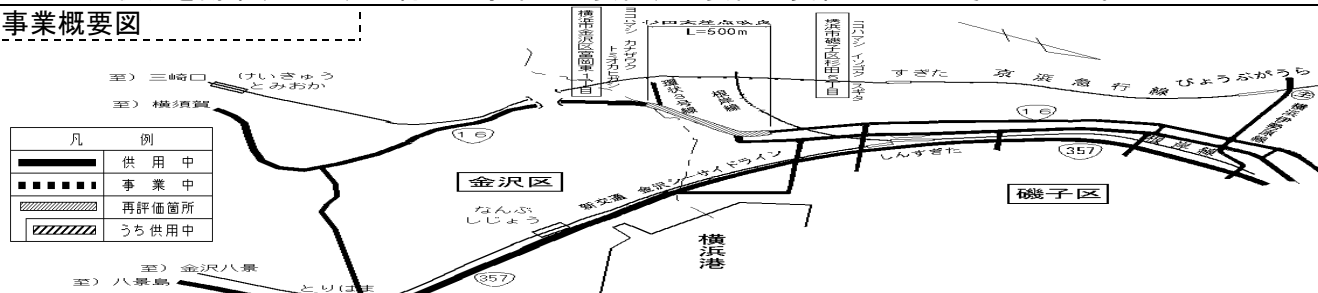


再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課
担当課長名：中島威夫

事業名	一般国道16号 ^{すぎたこうさてんかいりょう} 杉田交差点改良		事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 関東地方整備局
起終点	自：神奈川県横浜市金沢区富岡東1丁目 至：神奈川県横浜市磯子区杉田5丁目				延長	0.5km
事業概要	一般国道16号は、横浜市から千葉市を結ぶ延長約249kmの環状道路である。杉田交差点改良は、一般国道16号と横浜環状3号線との交差点である青砥坂交差点と一般国道16号と横浜市道磯子476号線との交差点である杉田交差点間の交通の円滑化・沿道環境の改善を図る約0.5kmの拡幅事業である。					
H元年度事業化	S32年度都市計画決定 (S62年度変更)	H4年度用地着手	H10年度工事着手			
全体事業費	約100億円	事業進捗率	66%	供用済延長	0.30km	
計画交通量	34,800台/日					
費用対効果 分析結果 ^(※1)	B/C (事業全体) 2.2 (残事業) 13.3	総費用 ^{(残事業)/事業全体} 12/72億円 (事業費：10/70億円 維持管理費：2/2億円)	総便益 ^{(残事業)/事業全体} 159/159億円 (走行時間短縮便益：155/155億円 走行費用減少便益：3/3億円 交通事故減少便益：1/1億円)	基準年： 平成15年		
事業の効果等	国土・地域ネットワークの構築（横浜市中心部と横須賀市のアクセス向上が見込まれる） 他プロジェクトとの関係（横浜市のスムーズ交差点プランに位置づけられている） 他9項目に該当 関係する地方公共団体等の意見 杉田交差点改良は、交通の円滑化、沿道環境の改善等に重要な役割を果たすことが期待されており、横浜市郊外部の交差点で特に渋滞が激しく市民生活に大きな影響を及ぼしている交差点の渋滞解消を目的としたスムーズ交差点プラン計画に位置づけられている。					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	平成11年の横浜環状3号線の一般国道16号への接続や平成13年の首都高湾岸線が全線開通などにより、周辺交通量が増加し、横浜市内の交通渋滞はますます深刻化している。					
事業の進捗状況、残事業の内容等	一部において用地補償協議が難航し、工事着手までに時間を要したが、平成11年に300mの右折レーンを設置したところである。					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	一部代替地の確保などの問題により用地の取得に時間を要していたが、現在全体の約70%の用地取得が完了しており、今後も横浜市と十分な調整を行い、用地買収の促進を図り、平成18年度供用を目指す。					
施設の構造や工法の変更等	コスト縮減に資する調達方法の採用や新技術の積極的活用導入など、コスト縮減に努める。					
対応方針	事業継続					
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。					
事業概要図						

(※1) 事業全体の費用便益分析は、既供用区間を除く区間を対象とした費用便益分析を行っている。

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。